

## 平成28年3月期 決算について

平成28年5月20日  
JFE鋼板株式会社

### 平成28年3月期の連結業績(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(百万円未満切捨て)

#### 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期	58,097	△ 11.7	△ 273	-	△ 59	-	△ 372	-
27年3月期	65,800	△ 3.3	△ 1,520	-	△ 680	-	△ 1,843	-

注 連結子会社数 28年3月期 5社、27年3月期 5社  
持分法適用関連会社数 28年3月期 1社、27年3月期 1社

(百万円未満切捨て)

#### (参考)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期	51,343	△ 13.6	△ 496	-	△ 59	-	△ 429	-
27年3月期	59,423	△ 3.2	△ 1,937	-	△ 679	-	△ 2,054	-

### 【当期の概況】

当社にとって比率が高い住宅分野の需要は、新設住宅着工戸数(持家)が消費税増税の影響により極めて低レベルであった前年から微増で推移しており(前年比+0.3%)、リフォーム需要も当初想定ほどの盛り上がりには欠けました。民間非住宅着工床面積も前年比▲0.2%と横ばいで推移しましたが、従来からの人手不足による影響に加え、マンションの杭打ち工事・データ改ざん問題もあり、工事の遅れが慢性化しております。

### 【当期の損益】

このような厳しい経営環境の下で、在庫削減、製造コスト削減、生産の効率化、非住宅向強化商品(耐火ヴァンド、防水屋根エコラミ等)および工場屋根等の設計織込みによる拡販、リフォーム分野を中心とする金属屋根の普及促進のための建材新商品発売、フレームキットの事業拡大(集合住宅向への販売、過去最高の売上達成)など、多岐にわたる収益改善策を講じてまいりました。

当期の連結経営成績は、売上高は58,097百万円で前期比▲7,703百万円の減収、一過性的コスト増加もあり経常損失は273百万円となりましたが、前期比で+1,247百万円の改善となりました。当期純損失は372百万円(前期比+1,471百万円)と赤字が残る形となりましたが、コスト削減、拡販等の成果は着実に現れており、損失は大幅に縮小しております。

### 【次期の見通し】

国内薄板建材需要は、なお予断を許さない状況が続くと予想されます。

このため、第一に、千葉地区CGLのめっき槽増設と京浜地区4CGLの休止による抜本的な競争力の強化を図ってまいります。第二に、カラー鋼板の塗膜グレードアップ、クロメートフリー化、高耐食性鋼板の商品化を推進していきます。第三に、住宅建材、フレームキット等、鋼板以外の事業分野において、最終消費者への働きかけを積極的に展開し、市場のニーズに応える新たな取組みを拡大してまいります。

以上